

## チームワークが革新能力形成に及ぼす影響

竹下, 浩

<https://doi.org/10.15017/1785349>

---

出版情報：九州大学, 2016, 博士（心理学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	竹下 浩			
論文名	チームワークが革新能力形成に及ぼす影響			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	山口 裕 幸
	副査	九州大学	教授	中村 知 靖
	副査	九州大学	教授	田上 哲
	副査	九州大学	准教授	池田 浩

## 論文審査の結果の要旨

本論文は、組織にイノベーション（新たな製品またはサービス、業務プロセス等）をもたらすために組織内チームが行う行動と、それらの行動を規定する心理的な要因、成果としてのチーム及び個人の能力形成について説明できる統合的なモデルを構築し、事務職と生産工程からのデータを分析することで実証的に検討した成果をまとめたものである。組織イノベーションの推進過程においてチーム学習が果たす役割について先行研究をレビューとそれに基づく理論的枠組みを構築して、企業組織を研究フィールドにして事務職チームならびに製造職チームにおけるチームの学習活動を促進する心理的要因の解明と、本研究が構築した理論的枠組みの妥当性について検討した。さらには、質的調査と質問紙調査を行って、チーム活動の経験自体が職務遂行能力の獲得に及ぼす効果について検討した。最後に、組織イノベーションの推進にチーム学習活動がもたらす促進的影響について議論し、残されている研究課題を明確にしつつ、組織革新能力を育成する組織マネジメントのあり方について提言を試みている。現状の研究における限界と今後の課題も的確に認識されており、今後さらなる研究の発展が期待される。これらの研究の成果は、学会においても高く評価されており、研究テーマは心理学としての学術的価値の高さのみならず、組織のイノベーション推進に有益な実践的提言につながるものとしても評価できる。よって、本論文は博士（心理学）の学位に値するものと認める。